

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	61	学校名	仙台市立八木山南小学校	校長名	吉田 正太郎
------	----	-----	-------------	-----	--------

## 1 取組のタイトル, テーマ 地域と連携した環境への取組



### 2 取組の紹介

#### (1) 地域クリーン作戦

例年11月頃に西多賀中学校区の3校（西多賀中，金剛沢小，本校）で連携して行っている活動です。この時期，学校周辺の街路樹の落葉が歩道を埋め尽くし，大変歩きにくくなります。道路や公園の落ち葉拾いをすることによって，自分たちの住む地域の環境を整え，地域の一員として，地域を大切にする気持ちを育てるねらいがあります。御協力いただいた地域の皆さんに感謝するとともに，様々な行動制限がある中，貴重な地域交流の機会とすることができました。



#### (2) 栽培環境委員会の取組

栽培環境委員会では，自分たちの活動を発信するとともに，学校内にある身近な自然に関心を持ってもらうためにポスターを作成し，廊下や階段の壁面に掲示しました。また，委員会活動の一環として，業間休みには花壇の草取りや花の水やりなども行いました。

#### (3) 学校園・学級園

学校園では栽培環境委員会の児童と用務技師がサルビアやパンジーなどの世話をし，年間をとおして環境活動に取り組んでいます。また，学級園でも各学級の児童が花を植えたり，野菜を育てたりして学習に活用します。植物の成長や変容を観察しながら，水やりや雑草取り，収穫の活動をとおして，児童が環境に目を向け，自然に親しむ取組を行っています。



### 3 取組の成果（児童生徒の変容）

コロナ禍で学校や地域の行事が縮小される中，PTAや地域の皆さんと一緒に活動することをおして，地域との絆に気付くことができ，さらに，自然や植物の成長を体感しながら学習することで豊かな環境を守っていこうとする気持ちを持つことができました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	62	学校名	仙台市立古城小学校	校長名	大久 耕
------	----	-----	-----------	-----	------

## 1 「できることから始めよう」



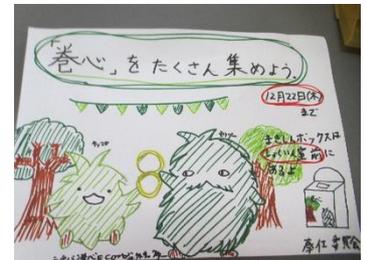
## 2 取組の紹介

### 【委員会活動（奉仕委員会）での取組】

#### (1) テープの巻心回収

##### ○ 実施方法

- ・奉仕委員会の児童が全校児童へテープの巻心回収を呼び掛けます。
- ・ポスターを作成し、各クラスに掲示します。
- ・テープの巻心を職員室前に設置した回収箱に回収します。
- ・集めたテープの巻心を「巻心プロジェクト事務局」へ送付します。
- ・事務局で、古紙回収業者に買い取ってもらい段ボールに再生します。また、その利益を事務局の「緑を守る取組」に役立ててもらいます。



### 【全校での取組】

- 常時活動「すっきりタイム」（毎週木曜日8：30～8：40）
  - ・放送で音楽を流し、その時間を全校で掃除の時間としています。
  - ・机やロッカーの中の整理整頓を行います。
- ゴミの分別の徹底化
  - ・教室では「ふつうゴミ」、「プラごみ」の分別をしています。職員は更に細かい分別を行っています。



## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

### 【委員会活動（奉仕委員会）での取組】

- 奉仕委員会の呼び掛けにより巻心回収が周知され、全学年意欲的に取り組みました。特に、初めての参加になる1年生は、この取組の内容を知り、大変意欲的に活動に取り組むことができました。

### 【全校での取組】

- 継続活動は、環境に対する意識を高めることにつながり、日常生活での実践にも役立っています。
- ゴミの分別を徹底し、習慣づけることで日頃から意識してゴミを捨てるように意識されています。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	63	学校名	仙台市立太白小学校	校長名	渕村 祐司
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル

「太白山自然観察の森から学び環境問題について考える」



## 2 取組の紹介

### (1) 太白山自然観察の森で学ぶ

太白小学校では、生活科や総合的な学習の時間をとおして、季節ごとに太白山自然観察の森へ行き、生き物や植物の様子を観察する学習をしています。1～3年生がグループに分かれて、地域のボランティアの方や観察センターのレンジャーさんと観察の森を探検し、初めて見る植物や生き物を熱心に観察しました。さらに3年生は、森の中を流れる沢川の中にいる生き物や、ホタルの幼虫の観察も行いました。春夏秋冬によって森や川の様子、そこに生きる生き物の変化について学びました。3年生は総合的な学習の時間にSDGsについても学習し、身の回りの自然を未来に引き継ぐために、自分たちには何ができるのか、考えを深めることができました。



### (2) 『森でみつける「じょうもん」』の取組

太白小学校では、仙台市縄文の森広場による普及啓発事業『森でみつける「じょうもん」』に取り組んでいます。1年生の時に太白山自然観察の森でクリの実を採取し、プランターに植え、6年間かけて苗木までに育て、その苗木を縄文の森に地植えするという活動です。子供たちが小学校生活の6年間を通して自ら種から苗木まで育てることで、自然の大切さについて学ぶことができます。1年生の子供たちは発根させたクリを大切にプランターに植え付け、大きく育つようと大事に水やりをしていました。



## 3 取組の成果

子供たちは地域の身近な自然や生き物に直接触れることで、それらの自然を守っていく大切さを学ぶことができました。SDGsと関連付けることで、自分たちは日々の生活の中でできることは何かなどを考えるきっかけになり、子供たちにとって環境問題がより身近なものになりました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	64	学校名	仙台市立川平小学校	校長名	板橋 宏明
------	----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル  
「環境を大切にする取組」



- 2 取組の紹介  
○緑化活動

飼育栽培委員会を中心に花壇の世話を行いました。花壇の水やりや草取りなどの緑化活動に、意欲的に取り組みました。

また、今年学校全体で取り組んでいる「いじめ防止きずなキャンペーン」に関連して、委員会活動で「花言葉」について調べ、放送やポスターを使って、全校に思いを届けることができました。

さらに、昨年度から、花壇の植え付け作業を、ボランティアの方の御協力をいただいています。飼育栽培委員会の児童は球根の仕分け作業をして活動に参加しました。



- ごみの分別回収

クラスごとにプラゴミ、燃えるゴミの用のゴミ箱を用意し、ごみの分別を行っています。教室から出た可燃ゴミとプラスチックゴミ、紙資源ゴミをポリバケツに回収しています。普段からごみの分別を意識して生活しています。



- 給食委員会の取組

給食の時間を利用して、今日の献立の説明や栄養素などについてまとめた画像をテレビに映し出し、食に対する意識を高めています。「好き嫌いをなく食べること」や「バランスのよい食事が大切」ということを伝えたり、残食を減らすように呼び掛けたりするなど、貴重な食育の時間となっています。

- 牛乳パック・パンの袋

飲み終わった牛乳パック、パンの袋は、小さくたたんだりして捨てています。今年度もコロナ対策のため、牛乳パックをグループごとにまとめることができませんでしたが、1人1人がきれいにたたんで、ごみを小さくまとめることを心掛けました。



- 3 取組の成果（児童生徒の変容）

学校生活の中で、ごみの分別や残食を減らすことを意識して取り組むことで、環境を大切にする気持ちを持つようになりました。また、植物や生き物を育てることをとおして、自然や命を愛護する大切さを学びました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	65	学校名	仙台市立芦口小学校	校長名	熊谷 英之
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 本校の取組

「芦口小学校環境・食育の取組」



## 2 取組の紹介

### ① 高学年の力と委員会活動

#### ○6年生の力で！

本校では例年、環境衛生委員会を中心に、学校の敷地のほか、近くの公園の落ち葉拾いを行っていました。集めた落ち葉は、腐葉土にして植物や野菜の栽培に役立てていましたが、コロナ禍のためにこの取組を一時休止していました。秋、この取組を覚えていた子どもたちから「きれいな学校で過ごそう」という声があり、今年度は6年生が進んで落ち葉拾いを行いました。集めた落ち葉はとて多く、やはり処理が大変です。6年生の取組に感謝をしながら、コロナ禍にあっても自分たちにできることから・・・という思いの下、環境衛生委員会でも来年度からの落ち葉の活用について話し合いを進めているところです。

#### ○委員会活動

昨年に引き続き、環境衛生委員会ではSDGsを意識した取組を行いました。節水節電についてポスター掲示による呼び掛け・古紙回収など、身の回りのことを振り返り行動することが、環境について考える機会となりました。



### ② 教科や食育と関連付けた環境教育の取組

#### ○『ふれあい朝ごはん・お弁当の日』

芦口小学校では、栄養士の先生を中心に年2回全校「ふれあい朝ごはんの日」「ふれあいお弁当の日」を設けています。「ふれあい朝ごはんの日」は、夏休み中、家族や自分のために朝ご飯を作り、一緒に食卓を囲みます。「ふれあいお弁当の日」は給食の代わりに自分のお弁当を自分で準備し登校します。低学年のうちは家庭の方と一緒に簡単な料理のお手伝いやお弁当の準備をしますが、高学年になると食材の買い物から調理まですべて一人で行う児童も増えています。

#### ○『家庭科・食べて元気に』

5年生の家庭科では食べ物に含まれる栄養素とその働きについて学び、授業の最後には給食はバランスがとれた食事であることを改めて気付くことができました。



## 3 取組の成果

一つきっかけがあると様々なアイデアが生まれ、自分たちの生活について考える機会が多い今年度でした。身の回りの資源を工夫して活用する、食残しをしないなど、実践や体験をとおして学ぶことができました。この学びを来年度は更に全校児童へ広げていけたらと思います。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	66	学校名	仙台市立蒲町小学校	校長名	田村 直也
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

### 花いっぱい笑顔いっぱいプロジェクト



## 2 取組の紹介

### (1) 緑化委員会での活動

#### ・花壇への花植え

緑化委員会では、自分たちの手による地域の花壇の花植え活動をとおして、緑あふれる地域づくりを目指しています。春はバーベナやマリーゴールド、秋はパンジー、チューリップなどの花苗を学校花壇に植えました。また、小中連携活動の一環として、中学校が花苗を購入し、小学校が学区内のバス停の近くにある花壇にマリーゴールドなどの花苗を植える活動を行いました。年間を通して、花の水やりや花壇の雑草抜きなどの活動も行いました。

#### ・花の紹介ポスター作り

児童に花について興味を持ってもらおうと、様々な花の特徴や花言葉などを調べ、ポスターを作成しました。



### (2) ごみの分別推進

#### ・ごみの分別

教室にプラごみともえるゴミのごみ箱を設置し、分別して捨てるようにしています。また、職員室や印刷室に、印刷ミスの紙の回収箱や紙の分別コーナーを設置し、リサイクルできるように取り組んでいます。

#### ・古紙回収

ボランティア委員会による古紙回収を行っています。古紙を回収し、資源を有効活用できるよう呼び掛けています。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

委員会の児童が毎日欠かさずに花壇の世話をすることで、きれいな花壇にすることができました。委員会以外の児童も、花壇の前で足を止める様子が見られました。また、ごみの分別などとおして、自分が環境のためにできることを考えるきっかけになりました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	67	学校名	仙台市立柞江小学校	校長名	毛利 雄一
------	----	-----	-----------	-----	-------



## 1 取組のタイトル, テーマ

身近な自然から学ぼう ～ 地域の自然「柞江の森」「与兵衛沼」での活動を通して ～

## 2 取組の紹介

柞江小学校では、地域に豊かな自然「柞江の森」と「与兵衛沼」についての学習を行っています。生活科や総合的な学習の時間、特別支援学級では生活単元で、これらの地域の自然をテーマとして取り上げており、どの学年も身近な教材として豊かな自然に親しんでいます。

### 3年生 総合的な学習の時間「柞江の森・与兵衛沼のひみつをさがそう」

3年生では、まず、「柞江の森」「与兵衛沼」の「ひみつを見つけよう」という課題で探検に行きました。探検から自分たちが発見した「不思議」を課題別グループで調べ学習を行いました。図鑑やインターネットだけでなく、仙台森林管理署や保健健康センター、教育局文化財課等に質問する機会も設けました。課題解決後、紙芝居やペープサート、ポスター、PCのプレゼンテーション機能等の様々な表現方法を使って、自分たちが調べたことを発表し、友達に紹介しました。



### 特別支援学級 総合的な学習の時間・生活単元「柞江の森の四季」

特別支援学級（知的・情緒）では、春夏秋冬で柞江の森へ出掛け、四季折々の自然に触れました。その中で、季節ごとの違いを発見したり、見つけた草花や生き物を調べたりする活動を行いました。まとめの段階では、草花を使って、遊んだり、しおりを作ったり、自分たちが発見したことを皆に知らせたりする学習活動を行いました。



### 5年生 総合的な学習の時間「自然に親しもう②～柞江の森を守り継ごう～」

5年生では、本単元の前の単元で、日本や世界では、どのような環境問題に取り組んでいるのか、その原因と対策を調べ、まとめました。本単元では、身近な自然である「柞江の森」の環境保全に取り組んでいる方の報告書から、この柞江の森を自分たちがどのように守り継いでいくことができるのかをテーマに学習活動を進めました。仙台市建設局百年の杜推進課や「せんだい・市民の森を創る会」の方々にも御協力をいただき、「森の大切さ」や「間伐の重要性」についても学びました。また、柞江の森に対する地域の方々の思いや願いについても御講話をいただきました。



## 3 取組の成果 (児童の変容)

子供たちは、地域にある自然について調べ活動を行うことによって、より身近に感じたり、愛着を持ったりすることができました。また、地域の方々から「柞江の森」や「与兵衛沼」について御講話をいただくことで、地域の方々の願いや思いを知り、この地域の自然を守り継ごうという意識をより高めることができました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	68	学校名	仙台市立東四郎丸小学校	校長名	伏見 滋
------	----	-----	-------------	-----	------

- 1 取組のタイトル, テーマ  
みどりと花いっぱいプロジェクト



## 2 取組の紹介

### ○ 学校農園の活用

野菜の栽培をとおして、勤労・生産の喜びを味わうことと、協力しながら責任を持って仕事をする態度を育てることを目的として活動しました。1年生はサツマイモ、3年生はオクラの栽培・収穫を行いました。1年生は校庭の落ち葉を使って収穫したサツマイモを焼き、皆でおいしく食べました。たくさん収穫できたので、いつもお世話をしてくれる6年生に焼き芋をプレゼントしました。オクラを育てた3年生は、ゆでた2種類の味付けをして食べました。野菜が苦手な児童も、食べてみよう、という気持ちになりました。やはり、自分たちで育てたオクラへの思いが食欲や、食べ物への感謝の気持ちにつながったようです。



### ○ 拡大美化活動



美化活動を通して、自然を大切にしようとする態度を育てることをねらいとし、全校で学校敷地内の落ち葉拾いを行いました。東四郎丸小学校には多くの木々があるので、11月上旬のまだ温かい時期でも、落ち葉がたくさんありました。低学年は小さな手でかき集め、高学年は熊手やほうきを使って、広い場所の落ち葉を集め、ビニル袋に詰めていきました。協力してくださる地域の方々のおかげで、短時間でも多くの落ち葉を拾うことができました。児童を褒めてくださったり、励ましてくださったり、いつも地域の方々が児童を支えてくださっています。

### ○ 花壇への花苗定植

皆できれいな学校にしていこうとすることを目的とし、春・秋の二回実施しました。「きょうだい学年（1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生）」である、異学年の友達とも関わりながら季節の花の苗を植え、植え方を教える姿や褒め合う姿が、毎年たくさん見られるほほえましい時間です。環境委員会（児童会）が中心となって企画し、道具の準備をしたり、定植の手伝いをしたり、全校児童が参加できるように活動を工夫しました。また、1年を通じて、休み時間を使って毎日水やりをしたり、草取りをしたりと、植物を大切に活動を進んで行うことができました。



## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

- 各学年で野菜や花苗を定植することで、水やりや雑草取りなどを自主的に行おうとする緑化意識が高まりました。
- 地域の方々と一緒に落ち葉拾いをする中で、会話や触れ合いの機会ができ、日頃から多くの方にお世話になっていることに気付くことができ、感謝の気持ちを持つことができました。
- 「きょうだい学年」で活動することで異学年の友達との仲を深めたり、緑化活動をとおして人と触れ合ったりすることができました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	69	学校名	仙台市立人来田小学校	校長名	福田 理枝
------	----	-----	------------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ 学童農園で稲作体験



## 2 取組の紹介

人来田小学校では、地域の方から農園をお借りして稲作体験に取り組んでいます。5年生は、社会科と総合的な学習の時間に米作りについて学びながら、6月に田植え、10月に稲刈りを行いました。

また12月には社会学級の委員長さん、学校支援地域本部のスーパーバイザーさんの御指導の下、収穫した後のわらを使って、正月飾りを作りました。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

6月の田植えでは、ほとんどの子供が初めて田植えに取り組みました。最初は泥の感触に戸惑っていた子供たちも、農家の方に苗の植え方を教わりながら植えていくにつれ、上手に植えられるようになりました。10月の稲刈りでは、鎌を上手に使い、丁寧に刈り取りました。収穫の喜びを感じることができた活動でした。12月には収穫した稲のわらを使って正月飾りをつくりました。子供たちは、わらを再利用できることに驚き、自分たちが収穫したわらを捨てずに、きれいな正月飾りにできたことに満足しているようでした。



また収穫した米を使って、調理実習を行いました。田植えから収穫まで経験した子供たちは、米一粒の大切さを感じているようで、一粒もこぼさないように慎重に米研ぎを行っていました。文化鍋でガスコンロを使いながら、米を炊く活動では、火加減に難しさを感じていました。苦勞してできあがったご飯は、お味噌汁と一緒にいただきました。子供たちの顔にはおいしさと達成感があふれていました。

体験をとおして、子供たちは農家の仕事の大変さや食べ物のありがたさを感じていました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	70	学校名	仙台市立西中田小学校	校長名	駒沢 健二
------	----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル、テーマ  
SDGsへの取組



- 2 取組の紹介

① 環境問題について

たんぼぼ学級では、昨年度から引き続き、SDGsについて学習しました。今年は、主に3Rについて学習しました。紙をリサイクルすると、森の木が守られることを学び、巻心ECOプロジェクトに参加しました。粘着テープなどの巻心の回収を全校児童に呼び掛ける動画を撮影したり、ポスターや回収ボックスも自分たちで作成したりしました。今年は12月の1か月間の取組でしたが、76個の巻心が集まりました。来年度も続けていきたいと考えています。

② 紙やプラスチックなどのリサイクル

職員室や印刷室に、紙の分別コーナーを設置し、リサイクルしやすいようにしています。また、紙以外にも紙ファイルの留め具など、再利用できるものは捨てずに回収する場所を設けています。子供たちだけではなく、職員もエコ活動を意識して取り組んでいます。

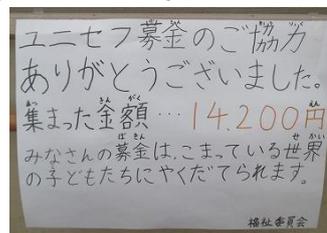
③ 栽培活動

今年は、教材園でサツマイモ、ミニトマト、きゅうり、パプリカ、カリフラワーなどの栽培を行いました。今年度も地域のボランティアの方に、苗の植え方や世話の仕方を教わりました。また、地域のトマトハウスを見学して、育てる際の工夫を教えてくださいました。教わったことを参考にして、子供たちは毎日の野菜のお世話を頑張りました。2年生とたんぼぼ学級では、収穫後のサツマイモのつるを使って、クリスマスリースやお正月リースを作りました。

また、1階の教室の前に、苗を入れるかご状のトレーを再利用したアサガオのグリーンカーテンを作ったり、美化委員会が地域のボランティアの方々と一緒に、昇降口前の花壇と校舎東側の道路沿いのプランターへの苗の植え替えを行ったりしました。

④ エコキャップ回収とユニセフ募金

福祉委員会の児童が、夏休み前に全校児童にペットボトルキャップの回収を呼び掛けました。集めたキャップは、世界の子供たちのワクチンとして役立てられています。また、12月にはユニセフ募金を行いました。2日間で14,200円集まりました。



- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

リサイクル活動や栽培活動を継続していく中で、子供たちから新たな活動のアイデアが出るなど、毎年行っている活動もますます幅が広がり、充実したものになってきていると感じます。高学年の委員会活動の呼び掛けを受けて、全校児童がそれに賛同して一緒に取り組もうという気持ちになり、他の学年にも環境への意識の高まりが見られます。さらに、今の自分たちにもできることや日常生活の中で取り組めることを考えることから一歩進み、児童一人一人が実際に行動・実践することができるようになってきました。

今後も児童、家庭、地域とともに、身近な環境に目を向け、SDGsにつながる活動に取り組んでいきたいと思ひます。